



MIYABI No. 3



- 平成25年3月31日
- 発行/徳島県邦楽協会

第27回 国民文化祭 とくしま2012 ”徳島県で5年ぶり”開催

第27回国民文化祭とくしま2012 分野別フェスティバル 第44回 邦楽大会

徳島県邦楽協会 事務局長 萩野拓郎

平成24年10月14日あわぎんホールにおいて盛大に行われました。国文祭が5年ぶりの本県開催ということで、県・マスコミの早めの取り組みもあり、県内盛り上がりのなか、660名の方々に邦楽を楽しんで頂きました。

今回も所属60団体から400名の参加で5時間半の熱演でした。私どもにとって古くて新しいテーマ「いかに舞台を魅力あるものにするか」という点において、舞台転換の改善など課題を持って臨んだ大会でしたが、今後これらの結果を十分吟味活用し、出演者の演奏技量の向上のみならず、特色ある多様な舞台をうまく組み合わせ、より引き締まった魅力ある舞台を創ることが出来ればと願っています。



オープニング曲 新饌恵比寿寶船



ファイナーレ曲 菩列呂(ボレロ) 邦楽合奏のために

第27回国民文化祭とくしま2012 邦楽への招待 和の元気！未来邦楽へ 全国邦楽合奏フェスティバル

第27回国民文化祭阿南市実行委員会実行委員長
徳島箏曲スタジオ 代表 藤本雅登伎(玲)

現代邦楽合奏が生まれて約半世紀がたち、現在全国でたくさんプロ、アマチュアが合奏を楽しむようになりました。また、2002年には学校教育に邦楽が取り入れられ、邦楽普及の明るいきざしが見えて来ました。しかし、まだまだ社会全体から見ると、特殊な愛好者の音楽という域を脱する事ができません。そんな中、文化庁国民文化祭とくしま2007がきっかけとなり、4年をかけて2011年11月に全国の仲間と特定非営利活動法人「全国邦楽合奏協会」を立ち上げました。各地で邦楽合奏を楽しむ合奏団・グループ・個人が連携し、点から面へ広がり、より効果的、多面的な活動をする事で「伝統楽器のすばらしさ、楽しさを広く国内外に発信する事により、邦楽の普及と発展、地域文化の振興に寄与する事」を目的としています。

そして平成24年9月14～16日の3日間、阿南市文化会館夢ホールにおいて、文化庁主催事業国民文化祭とくしま2012の「全国邦楽合奏フェスティバル」を開催しました。「全国邦楽合奏協会誕生公演」を核としたものです。長いあいだコスモホール「邦楽への招待」のプロデュースの仕事をしていただいているご縁で、阿南市に受け皿となっていただき実行委員会を立ち上げました。そして、多くの方が邦楽協会の会員でもある徳島県三曲協会との共催になりました。

事業内容は全奏協(略称)誕生公演の他、偉大なる地元作曲家「故三木稔氏の軌跡」、有名プロを招きPAや尺八のワークショップ、指揮実験室、有名ジャーナリストによる講演や「未来邦楽」のパネルディスカッション、箏マエストロによる青少年ワークショップ、楽器制作や体験を含め歴史図表展示など全10事業にわたりました。そのほかウエルカム事業として阿南市文化協会のご協力のもと阿波踊り・お茶席・三番叟・ハートの花火・復興ライブ他7事業、全17事業の盛大なものになりました。

参加者は全国から約400人に及び、県内一般、学生を合わせると総勢570名でした。ボランティアは阿南市文化協会・三曲協会・徳島邦楽集団・全国邦楽合奏協会等を含め約230名を越え、一般参加者を含めると約2000人、全国に誇れるすばらしいフェスティバルとなりました。

この事は、現代邦楽界を中心に全国に大きな影響を与えたのみならず、韓国の国楽雑誌LARAにカラー17ページにわたり紹介され、高い評価をいただきました。皆様のご協力にただただ感謝いたします。ほんとうに有難うございました。



徳島県吟詠剣詩舞道総連盟女子による「祝賀の詞」



全国邦楽合奏協会による「童夢」

第27回国民文化祭とくしま2012 応援事業 徳島県吟詠剣詩舞道祭 開催される

大会実行副委員長
乃木流吟詠剣詩舞道徳島県本部 代表 西條典綜

徳島県で全国初の二回目の国文祭が開催されることとなり、県下の吟詠界としまでも吟剣詩舞振興の観点から、絶好の機会ととらえ、応援事業ですが飯泉徳島県知事、河野石井町長、邦楽協会浅香会長をお迎えし、平成24年12月9日石井町中央公民館ホールで盛大に開催致しました。

大会は、午前中祝賀吟として女性30名による「祝賀の詞」、男子30名による「阿波八景」に始まり、公益財団本部女流吟詠家5名による合吟「松竹梅」、続いて県総連所属流派による合吟、一般会員の吟剣詩舞、幼年・少年による吟詠・剣詩舞が披露されました。

午後に入って、記念式典が行われ、荒瀬実行委員長のご挨拶に続いて、飯泉徳島県知事、河野石井町長のご祝辞を頂戴し、公益財団本部福井会長の祝電が披露されました。その後、午後の部「構成吟剣詩舞」の発表となり、タイトルは「阿波の大自然の中で生まれた文化と先哲」と題し、今回のとくしま2012の4大モチーフとなっている「阿波藍」、「阿波人形浄瑠璃」、「ベートーヴェン第九」、「阿波おどり」に因んだ題材を交え、阿波の大自然に育まれた文化、そこで育った郷土が誇る先哲を吟詠、剣舞、詩舞、和歌、踊り等を合せて15題が演じられました。最後に各流派代表者による吟詠、詩舞で締めくくり、大会を終えました。

大会運営にご尽力いただきました関係各位に厚く御礼申しあげます。

猪井恵朱先生

とくしま芸術文化賞 受賞

平成25年3月22日、(財)徳島県文化振興財団より、平成24年度第5回とくしま芸術文化賞・奨励賞の受賞者が発表され、三曲部門の日本当道音楽会所属朱音会会主猪井恵朱先生が芸術文化賞を受賞されました。選考評を掲載し、その栄誉を称えます。



[選考評]

長く徳島県邦楽協会の事務局を務め、団体の活動を通して、本県の邦楽の普及と発展に寄与された。2003年度より、伝統文化こども教室の指導者として、上板町を中心に邦楽愛好者次世代育成に尽力。徳島県総合教育センター生涯学習課主催講座「あせび子ども邦楽教室では、現在約50名の子どもが箏や三味線を学んでいる。2010年には、徳島県在住の邦楽を学ぶ小・中・高校生を対象に「邦楽を愛好する子ども育成会」を設立し、代表に就任。第27回国民文化祭において、初めての演奏会を開催した。また昨年には、原田恵津子氏逝去以来、幻の箏曲となっていた阿波秘曲「紅葉合」の復曲に取り組み、徳島城博物館20周年記念事業において20年ぶりに上演を果たすなど本県の伝統音楽(邦楽)の普及・発展に貢献するとともに、次世代の育成にも尽力し、本県の芸術文化の振興に特に業績顕著である。



よみがえる阿波の秘曲

紅葉合

日本当道音楽会所属 朱音会会主 猪井恵朱

阿波に遺されている古い曲の中でも「紅葉合」という幻の秘曲があります。

万延元年9月に13代藩主蜂須賀斉裕公が、浅草の梅園院で行われた紅葉の歌合(紅葉の盆栽に和歌を添えて出品、左右に分かれた参加者が詠んだ和歌の優劣を競う文学的遊宴)に由来し、この歌合に勝利した斉裕公が、これを記念して作らせたのが謡曲「紅葉合」です。

「木末色ある時雨月、時雨月、秋の名残を眺めん、げに治まれる御世のしるし・・・」と始まります。

この御謡は、大龍公の時代には、折々謡われましたが、維新後、徳島では謡曲が廃れたせいもあり、箏曲にして世に残そうと、明治17年頃に当時の箏曲家松谷城隆、大崎城悦、立花丈千代の三人によって作り直され、蜂須賀邸での試楽を経て、明治17年9月28日に蜂須賀家代々の御霊を祀る国瑞彦神社の歌会の席で初演されました。

その後も御歌会にかかわる御式などには、必ずこの曲が奏でられましたが、かりそめのもてはやしものに混えてみだりに弾くことは許されず、その代々の伝承者も人を選び、十四人目の伝承者福島ウノ氏が昭和34年77歳で亡くなられてからは、誰にも弾かれることもなく、幻の箏曲—阿波の秘曲—となってしまいました。

これを惜しんだ原田恵津子先生が、生前の福島ウノ氏のお言葉により、姪の福島葉那子氏から秘本の写しを譲り受けられ、「紅葉合」復曲に打ち込み完成され、十五人目の伝承者になりました。

この度、平成24年10月20日徳島城博物館の開館20周年記念行事に、この貴重な秘曲をご両家のお許しを得て演奏させて頂きました。

私にとりましてこの上ない喜びであり、また責任の重さを痛感しているところです。我が身の拙さを思いますと、恩師でもあります原田先生が天国でどのような顔をされているかと身のすくむ気持ちが致します。

先生の古典にかける情熱を思い出し、次代に継承していくことが何より大事と考え、自分に与えられたこのような幸福に感謝しながら、先人に倣って稽古に励み、精一杯、私も時間の旅を紡いでいきたいと思っています。



紅葉合を演奏する原田恵津子先生



写真は市立徳島城博物館20周年記念行事より借用

「みやび」に寄せて (インタビュー)

徳島県邦楽協会 名誉会長
春松会 会主 松永和三治(春名完二)

先日、会の人々が誕生日を祝ってくれまして、僕は大正13年2月10日生まれで満89歳、数えて90歳になりました。

徳島県邦楽協会は、昭和42年に発足しました。当時、徳島県が県芸術祭をやるとういう事になりましたが、徳島新聞社が美術展などを企画していましたので、県として中心になる文化団体がなかったわけです。そこで、県教育委員会社会教育課文化振興班々長の山本恒夫さんが、県下の邦楽団体を纏めて邦楽協会を創るよう勧めてくれまして、県芸術祭の中心に据えたわけです。

また、その頃四国放送が邦楽放送をやっている、僕のところには話がきまして、出演者の手配などお世話をしていました。そんな人間的繋がりも大きかったと思います。

その後、社会教育課文化振興班の文化課への格上げに徳大の黒田嘉一学長らと当時の向島安市教育長に陳情したり、文化課になってから折目忠治課長など教育委員会の皆さんには、随分お世話になりました。

会報「みやび」の創刊は、皆で話しが出て、書家で宝生流の後藤鹿三さんが中心になって作ってくれました。第2号で止まっていたのですが、40年ぶりに再刊してくれるのは大変結構なことで、嬉しいことです。是非、今後とも続けて行って欲しいものです。

(と、ご自宅でお元気に話されたひとときでした。事務局)



春松会 新年会 平成25年2月10日 於 ホテルグランドパレス

会員紹介

○ 謡曲部門

◇ 喜多流喜陽会(きたりゅうきようかい)

代表: 吉田文明(喜多流教授) 師範代 中野広二
事務局 萩野拓郎

流派: 喜多流喜陽会は、阿波藩の式楽喜多流の流れを汲み、現在は喜多流職分栗谷能夫師の指導を受け、毎年、稽古会を行っています。鳴物は小鼓が幸流、大鼓が葛野流、太鼓が金春流、笛が森田流です。

会員: 20名、準会員(子供)4名

活動: お稽古は、素謡、素謡と仕舞、素謡と仕舞と鳴物のグループで、それぞれ曜日を分けて、毎週一回行っています。

演奏会は5月(春季会)、11月(秋季会)に謡曲・仕舞・舞囃子会を実施し、邦楽大会、徳島市芸能祭に参加しています。

◇ 嘉風会(かふうかい)

代表: 橋本ハル子(観世流能楽師師範)

流派: 観世流能楽、謡、仕舞の指導と普及活動

会員: 25名

活動: 自宅で個人指導。中央公民館の成人大学講座「謡・仕舞をたのしもう」で指導。八万コミセン「八万能楽子ども教室」で指導。

平成19年から毎年、井上同門定期能楽の会、「松交会」(京都)、大阪井上同門能楽の会などに出演。嘉風会主催の発表会のほか他流との合同発表会、県民文化祭、徳島市コミセン祭、中央公民館祭、こども邦楽演奏会ほかに出演。平成21年3月文化の森県立近代美術館主催、同8月二十一世紀館主催の「能へのおさそい」で分かり易い能を企画演出。平成21年10月から八万南、鳴教大附属、北島北、津田の各小学校、鳴教大附属特別支援学校など県下で毎年数校ずつ、また県事業で平成23年7月から半田小学校、八万南幼稚園、みのり保育園ほかで、京都より吉浪壽晃師、浦部幸裕師、寺澤幸祐師ほかを招き、能楽の体験学習を行っている。能は、難しく堅苦しいと誤解され敬遠されがちだが、日本の芸能の原点であり、能を楽しむDNAが日本人にはあるので、多くの方々に能に感動して楽しんで頂けるよう、謡、仕舞の指導だけでなく、一流の能楽師と共に能の伝承と発展を願い、地域社会に貢献できるよう努力している。

○ 長唄部門

◇ 徳島佐苗会(とくしまさなえかい)

代表: 会長 杵屋佐彰

流派: 長唄 佐門会所属

会員: 社中35名

杵屋佐田篠(篠懸会)、杵屋佐伴苗(玄の会)

杵屋佐栄篠(旦会)、杵屋佐世篠(郁の会)

日本橋ひろ栄(東会/俗曲・端唄)

活動: 5月～12月こども三味線教室において指導

7月～8月 屋形船「邦楽の夕べ」演

8月12日 三味線流し

11月 邦楽大会出演

11月5日 青の会 徳島佐苗会 長唄演奏会

◇ 長唄稀綾会(ながうたきりょうかい)

代表: 会長 稀音家治乃

流派: 稀音家流11世杵屋六左衛門が稀音家照海と名乗ったのに始まる。

家と改姓、以後一門の名となる。

活動: 稀綾会(徳島)春幸会(高知)を主宰。

鳴門教育大学非常勤講師。学校などにて演奏及び指導を行う。県邦楽協会をはじめ各演奏会に出演。

◇ 長唄佳趣会(ながうたかしゅうかい)

代表: 東音三木千佳子

活動: 県邦楽協会演奏会を始め、学校、祝賀会、催し物などへ出演しております。

また、昨年秋には東京で行われる親師匠の演奏会に社中で出演いたしました。

◇ 稀聲会(きせいかい)

代表: 稀音家四郎五郎

流派: 稀音家

会員: 35名

活動: 週二回個人指導。唄・三味線両方指導。

週1回カルチャー教室指導

活動: 新年会、浴衣会、カルチャー発表会等、全員参加で演奏会をしています。また、名取り同門会等に参加しています。

◇ 杵家会徳島支部(きねいえかいとくしまぶ)

代表: 支部長 杵家弥智代

流派: 四世杵家弥七により、大正11年に「文化譜」が完成されました。

この譜は、わかりやすく、便利なので、最も広く普及しています。

会員: 現在65名で、第一、第二、第三の支所があります。

活動: 年に数回 家元による講習会および教室を開き、各支所においては、お弾き初め、浴衣会をしています。また、定期的に支部演奏会を開催しています。

◇ 長唄古都和会(ながうたことわかい)

代表: 松永和世幸(仁木綾子)

三曲協会常任理事 仁木古都風

流派: 日本長唄協会 松永流

会員: 約35名

活動: 稽古は毎週1回(合同練習は別)会長宅。

県邦楽協会主催の邦楽大会出演。古都和会初弾き会、ゆかた会開催。長唄同門会、関西大会に出演。三曲協会主催の三曲演奏会、ゆかた会に出演。都山流、琴古流、竹保流尺八演奏会に賛助出演。体験学習、幼稚園・小学校・中学校・高等学校(現在までに約50校)、慰問、保健老健養護施設訪問(現在までに約30施設)、会員相互の親睦と邦楽を学び上達を喜びながら継承にも努めています。

◇ 春松会(しゅんしょうかい)

代表: 松永和三治

流派: 長唄 松永流

会員: 40人

活動: 徳島・鴨島教室を中心に活動。

新年会、ゆかた会を開催。邦楽大会に参加。

○ 三曲部門

◇ 琴古流尺八美風会徳島支部(きんこりゅうしゃくはちびふうかいとくしましぶ)

代表: 支部長 大西晴一
副支部長 宮竹晴園、竹内倫風
副支部長 櫻井晴眉(師範の会) 近藤晴芳
(古典に親しむ会)

会員: 約50名

活動: 吹き初め会、三曲定期演奏会、野外活動
支部研究会、三曲ゆかた会、本曲講習会、
四国ブロック夏季錬成会、邦楽大会、本部演
奏会、支部演奏会、絃方演奏会賛助、支部師
範の会演奏会、支部古典に親しむ演奏会、
施設、各種行事、学校(体験学習)等ボランテ
ィア活動、定例研究会(毎月第一、第三金曜日
八万コミセン)

◇ 正絃社(せいげんしゃ)

代表: 室 志津代
流派: 生田流箏曲正絃社は、初代家元野村正峰、
二代家元野村祐子の作品を中心に指導、演奏
活動を行っている。

会員: 約20名
邦楽大会、三曲演奏会、尺八演奏会等に出演。

活動: 毎年1月お弾き初め会(初春のしらべ)開催。
正絃社春の公演(名古屋)、関西作曲家協会
演奏会(大阪)、正絃社幹部会夏季合宿、講習
会等に参加。

◇ 箏曲あきら会(そうきょくあきらかい)

代表: 林 晶子(雅楽晶)
流派: 生田流正派音楽会、大師範藤本雅登伎先生
に師事。平成4年から箏曲あきら会を創設

会員: 1名
活動: 古典曲、現代曲、ポピュラーソングなどに取り
組んでいます。演奏技術向上のほか、邦の歴
史等も学ぶよう努めています。

◇ 沢井箏曲院(さわいそうきょくいん)

代表: 遠藤綾子
会員: 20名
活動: 第27回国文祭(総合フェスティバル・石井町
国民文化祭・邦楽を愛好する子ども育成会)他

◇ 竹保流尺八徳島県支部(ちくほりゅうしゃくはちとくしまけんしぶ)

代表: 支部長 浜井弘保
副支部長 西野箏保 板谷崇保 畑 笙保
幹事長 清水 露保
事務局長 兼松 劉

流派: 竹保流尺八徳島県支部は、老若男女を問わ
ず楽しめる尺八を目指すとともに、県内邦楽の
普及発展と地域文化の向上を目差し、昭和49
年12月に発足しました。

活動: 主な活動は、年1回の定期演会、徳島県邦楽
協会、徳島県尺八協会、徳島県三曲協会演奏
会、京都明暗寺尺八本曲全国献奏大会へ積極
的に参加し、研鑽を積んでおります。
国民文化祭には、三重県、岐阜県、群馬県、
鳥取県、山口県、徳島県の各大会に出演し、
全国の邦楽愛好家との交流も深めています。
また、徳島新聞カルチャースクール・徳島市

中央公民館尺八講座に講師を派遣し邦楽の
発展に寄与しております。

◇ 当道音楽会徳島中支部 木内社中 (とうどうおんがくかいとくしまなかしぶ きのうちしゃちゅう)

代表: 菊村弘子(代行 島本菊保)
流派: 公益社団法人 当道音楽会
会員: 菊華茂美 菊弘敏子ほか6名
活動: 本部演奏会、邦楽大会、三曲協会演奏会、
ゆかた会等に出演したり、尺八の演奏会に賛
助出演しています。また小学校で箏の生の音
を聞いてもらおうと演奏活動を行っています。
毎週、日曜日に渭北福祉館で尺八も合せ十
数名で練習し、年に数回は、本部より先生を
お招きして講習会も行っています。

◇ 当道音楽会徳島中支部 菊美会(とうどうおんがくかいとくしまなかしぶ きくみかい)

代表: 菊村美枝子
流派: 公益社団法人 当道音楽会
会員: 1名
活動: 徳島県邦楽大会・三曲協会演奏会・ゆかた会
等に出演したり、尺八の演奏会に賛助出演し
たりしています。
古典を中心に演奏活動を行っています。

◇ 箏曲 朱音会(そうきょく あかねかい)

代表: 猪井恵朱
流派: (財)日本当道音楽会所属(本部 大阪)
会員: 20名
活動: 2008年から「あせび子ども邦楽教室」講師で
会員50名。2010年から「邦楽を愛好する子ど
も育成会」を発足し代表。2011年から阿波の
秘曲「紅葉合」の十六人目伝承者。

◇ 徳島箏曲スタジオ(とくしまそうきょくすたじお)

代表: 藤本雅登伎(玲)
流派: 公益財団法人 正派邦楽会
会員: 約30名
活動: 伝統音楽からポップス現代邦楽まで、幅広く
邦楽を楽しんでいる。
年間を通じ県内外で演奏活動を行い、学校
指導にも力を注ぎ、コンクール入賞など成果を
あげている。

◇ 美乃里会(みのりかい)

代表: 井内久美子
流派: 生田流箏・三絃
会員: 約40名
活動: 主に古典を学ぶ会で、徳島県三曲協会、徳島
県邦楽協会に所属し、その演奏会や尺八の
演奏会、自会の演奏会等で古典曲を演奏し、
勉強しています。

◇ 都山流徳島県支部(とざんりゅうとくしまけんしぶ)

代表: 支部長 山上明山 南の会 村上聖山
西の会 地紙淑山 北の会 松田太山
流派: 都山流尺八楽会(公益財団法人)徳島県支部
会員: 75名(中学生から高齢者まで、女性も数名)
活動: 毎年の定期演奏会は今年で67回を数えます。
徳島県邦楽協会、徳島県三曲協会演奏会な
どへの出演のほか、講習会、コンクール、学校
訪問など幅広く活動しています。

◇ 箏曲古都和会(そうきよことわかい)

代表: 吉崎夕華

流派: 財団法人 日本当道音楽会

会員: 26名

活動: 那賀川中学校 講師

富岡東高等学校羽ノ浦校 講師

邦楽協会主催の邦楽大会、三曲協会主催の三曲演奏会、ゆかた会に出演。都山流、琴古流、琴古流、竹保流の尺八演奏会に賛助出演。体験学習で、幼稚園、小学校、中学校、高等学校約50校で演奏。保健老健養護施設、約30施設の慰問演奏。会員と邦楽を学びつつ、継承者の育成に努めています。

◇ 宮城会四国支部内田社中(みやぎかいしこくしふ

うちだしやちゆう)

代表: 内田道子

流派: 宮城会

会員: 30名

活動: 先人達が作曲した、特に宮城道雄が思いを込めた数多くの作品を、自分達なりに感じ、楽しみながら練習に励み、その頑張りの結果を舞台上で発表する。日本人として生まれたことを誇りにし、伝統音楽の中で心身共に成長し続ける。それを社中の目標として精進しています。全国各地で行われる宮城会の演奏会に参加しています。

○ 琵琶部門

◇ 筑前琵琶旭城会(ちくぜんびわきよくじょうかい)

代表: 工藤旭城

流派: 筑前琵琶

会員: 5名

活動: 邦楽大会、徳島市芸能祭その他に出演

◇ 薩摩琵琶錦心流一水会阿波支部

(さつまびわきんしんりゅういつすいかいあわしぶ)

代表: 浜 旭水

流派: 錦心流琵琶一水会

会員: 12人

活動: お稽古は週1回

邦楽を楽しむつどい、ケアハウスいちご苑、祖谷源内の里ふるさとまつりなどに出演。

◇ 錦心流琵琶欽水会(きんしんりゅうびわきんすいかい)

代表: 吉本房水

流派: 錦心流琵琶全国一水会所属

初代徳島支部長の故内田欽水師の教えをもとに、お稽古を続けています。

会員: 若干名

活動: 薩摩琵琶の弾き語りをし、幽玄にして勇壮な音色と余韻を楽しみ、琵琶の魅力を伝えていきたいと活動しています。

徳島県邦楽協会演奏会のほか、大阪支部演奏会、錦心祭全国大会などに出演しています。

○ 民謡部門

◇ 阿波ぞめき 渦の会(あわぞめき うずのかい)

代表: 福島俊治

流派: 福島流

会員: 160名

活動: 公演、おさらい会を隔年実施。

邦楽大会、徳島市芸能祭ほか多数出演。

春、夏、秋に富田町富街通りで三味線流し。

東日本大震災チャリティーコンサートを県下で行い、義援金を日本赤十字社徳島県支部に寄付。

はなはるフェスタに参加、阿波おどりは4日間参加し、路上ライブも行う。

月2~3回介護施設などへボランティアで出演。

○ 吟詠部門

「徳島県吟詠連盟」及び「徳島県詩吟剣詩舞道連盟」の加入者で、以下の流会派が邦楽協会に加入しています。

◇ 青雲流日本吟詠会(せいいうんりゅうにほんぎんえいかい)

代表: 荒瀬龍鳳

会派: 徳島県吟詠連盟 理事長

会員: 100名

◇ (公社)関西吟詩文化協会明徳会(かんさいぎんしぶんかきょうかいめいすいかい)

代表: 山下明徳

会派: 徳島県吟詠連盟 副理事長

会員: 100名

◇ 岳芯流吟詠会(がくしんりゅうぎんえいかい)

代表: 長田岳心

会派: 徳島県吟詠連盟 副理事長

会員: 125名

◇ 和光流東山吟詠会(わこうりゅうとうざんぎんえいかい)

代表: 泉 耕光

会派: 徳島県吟詠連盟 常任理事

会員: 100名

◇ (公社)関西吟詩文化協会景祖会(かんさいぎんしぶんかきょうかいけいしゅうかい)

代表: 藤本景孟

会派: 徳島県吟詠連盟 常任理事

会員: 200名

◇ 欽水流吟詠会(きんすいりゅうぎんえいかい)

代表: 安田水鈴

会派: 徳島県吟詠連盟 常任理事

会員: 125名

◇ 吟詠鶯風流(ぎんえいおうふうりゅう)

代表: 中野吟鶯

会派: 徳島県吟詠連盟 常任理事

会員: 100名

◇ 乃木流吟剣詩舞道徳島県本部(のぎりゅうぎんけんしぶどうとくしまけんほんぶ)

代表: 西條典綜

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 理事長

会員: 100名

◇ 浄心流龍峰会(じょうしんりゅうりゅうほうかい)

代表: 亀谷龍藍

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 副理事長

会員: 100名

◇ 揚心流日本朗詠会(ようしんりゅうにほんろうえいかい)

代表: 八木瑞堂 副会長・事務局長 三原瑞顕

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 会長、運営委員

会員: 700名

◇ 貫心流吟道吉野川愛好会(かんしんりゅうぎんどうよしのがわあいこうかい)

代表: 桃井鴻春

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 常任理事

会員: 150名

◇ 吟道瑞祥流(ぎんどうずいしゅうりゅう)

代表: 二代原田瑞祥

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 運営委員

会員: 100名

◇ 瑞鳳流日本吟詠会(ずいほうりゅうにほんぎんえいかい)

代表: 野崎瑞鳳

会派: 徳島県詩吟剣詩舞道連盟 運営委員

会員: 50名

平成24年度 活動記録

○文化庁委託伝統音楽普及促進支援事業

本事業は、実演家・教員・調整者が協働して、伝統音楽を学校で教えるための仕組みづくりを目指し、平成23年に文化庁がスタートさせた事業である。事業は3つの柱からなり、①合同研究事業(実技講習会)、②教材作成事業(学校で扱う教材の作成・提案)、③コーディネーター支援事業(実演家と教員をつなぐ調整者の育成)を通して、伝統の音色を次世代へつなぎ、伝統音楽の普及促進を支援するものである。係る実施団体として徳島県邦楽協会の三曲部門(尺八・箏)、長唄部門(長唄三味線)が採択され、3年の継続事業がスタートした。

◇平成23年度事業実施状況

県内の音楽教員に呼びかけ、事業を開始した。三曲部門は、尺八、箏の実技講習会、教材作成会議を各5回実施、延べ教員88名、協会員53名が参加し、長唄部門は長唄三味線の指導講習会を3回、実技・教材作成会を2回実施し、延べ84名、協会員26名が参加して、アンケート調査等も合わせ、次年度以降の事業の基礎資料を作成した。

◇平成24年度事業実施状況

引き続き、三曲部門は尺八、箏の教材作成研究委員会を4回、実技講習会を1回実施、延べ教員58名、協会員38名が参加し、長唄部門は長唄三味線の教材作成会を4回、実技講習会を2回実施、延べ教員14名、協会員9名が参加してそれぞれ、学校教育向け教材を研究し作成した。

◇平成25年度事業予定

最終年度にあたり、作成した教材を用いた授業実践や、コーディネーター支援事業への参画を通して、教材の妥当性を検証し、完成させる予定。

○徳島県芸術教育実技講座派遣事業

徳島県総合教育センターの要請により、音楽教員の実技講座に会員を派遣。

- 平成24年8月1日 三曲部門 美乃里会(箏)
- 平成24年8月7日 三曲部門 都山流徳島県支部(尺八)
- 平成24年8月9日 長唄部門 稀綾会(長唄)

○第44回邦楽大会

[第27回国民文化祭・とくしま2012分野別フェスティバル]
平成24年10月14日(日) あわぎんホール

◇主催 徳島県邦楽協会

助成 徳島県民文化祭開催委員会
協賛 第27回国民文化祭徳島県実行委員会

◇出演団体

- オープニング曲(全部門出演)
- 1 長唄・鳴物(春松会・鼓月会)
- 2 謡曲(喜多流喜陽会)
- 3 琵琶(薩摩琵琶錦心流一水会阿波支部)
- 4 吟詠(欽水流吟詠会)
- 5 吟詠(和光流東山吟詠会)
- 6 吟詠(揚心流日本朗詠会)
- 7 吟詠(徳島県吟詠詩舞道総連盟 女子)
- 8 吟詠(徳島県吟詠詩舞道総連盟 男子)
- 9 琵琶(筑前琵琶旭城会)
- 10 三曲(日本当道音楽会所属 猪井社中)
- 11 三曲(竹保流尺八徳島県支部)
- 12 三曲(当道音楽会・竹保流尺八徳島県支部)
- 13 民謡(阿波ぞめき 渦の会)
- 14 三曲(都山流徳島県支部)
- 15 三曲(箏曲あきら会・徳島箏曲スタジオ・都山流徳島県支部)
- 16 三曲(琴古流尺八美風会徳島支部)
- 17 端唄(東会)
- 18 三曲(当道音楽会徳島中支部・都山流徳島県支部)
- 19 三曲(都山流徳島県支部)
- 20 三曲(正弦社・竹保流尺八徳島県支部)

21 長唄(稀聲会)

フィナーレ曲(全部門出演 指揮増田篤志)

◇入場者数 661名

○文化の森「邦楽のつどい」

[第27回国民文化祭・とくしま2012特別協賛事業]

平成24年10月7日(日) 県立二十一世紀館野外劇場

◇主催 徳島県立二十一世紀館

◇出演団体

- 1 三曲(琴古流尺八美風会・箏曲古都和会)
- 2 長唄(春松会・徳島佐苗会・古都和会・稀聲会)
- 3 端唄(東会)
- 4 吟詠・剣舞・詩舞(大和陽心流瑞城会)
- 5 琵琶(錦心流琵琶欽水会)

○第41回徳島市芸能祭

平成25年3月3日(日) 徳島市立文化センター

◇主催 徳島市文化協会

◇出演団体 (プログラム第一部)

- 1 民謡(阿波ぞめき 渦の会)
- 2 端唄(東会)
- 3 吟詠(貫心流吟道吉野川愛好会)
- 4 吟詠(乃木流吟詠詩舞道徳島県本部)
- 5 琵琶(薩摩琵琶錦心流一水会阿波支部)
- 6 三曲(琴古流尺八美風会徳島支部)
- 7 吟詠(岳心流吟詠会)
- 8 吟詠(公益社団法人関西吟詩文化協会 景和会)
- 9 謡曲(喜多流喜陽会)
- 10 長唄(古都和会)

○後援事業

◇第94回徳島県吟詠コンクール大会

平成24年4月15日(日) 石井町中央公民館

◇第8回徳島県尺八協会演奏会

平成24年4月29日(日) ふれあい健康館

◇明山会演奏会

平成24年5月6日(日) 石井町中央公民館

◇第80回喜多流春季謡曲・仕舞・舞囃子会

平成24年5月20日(日) ヨンデンプラザ徳島

◇第22回こども邦楽演奏会

平成24年6月9日(日) 石井町中央公民館

◇第5回渦の会公演

平成24年6月24日(日) あわぎんホール

◇三曲 箏・三絃・尺八の調べ ゆかた会

平成24年7月29日(日) ヨンデンプラザ徳島

◇琴古流尺八美風会徳島県支部演奏会

平成24年11月3日(土) あわぎんホール

◇第81回喜多流秋季謡曲・仕舞・舞囃子会

平成24年11月11日(日) ヨンデンプラザ徳島

◇第66回都山流徳島県支部定期演奏会

平成24年12月2日(日) 阿南市羽ノ浦町コスモホール

◇第27回国民文化祭とくしま2012・応援事業

徳島県吟詠剣詠詩舞道祭

平成24年12月9日(日) 石井町中央公民館

◇第29回竹保流尺八徳島県支部演奏会

平成24年12月23日(日) 郷土文化会館 大会議室

◇木南征山リサイタル

平成25年1月6日(日) あわぎんホール

◇第39回定期演奏会 箏・三絃・尺八の調べ

平成25年2月24日(日) あわぎんホール

◇都山流尺八追悼演奏会 竹のひびき

追悼: 浜野羊山師・飯藤方山師・鈴江湧山師

平成25年3月10日(日) あわぎんホール

◇箏曲雅伎会 第5回演奏会

平成25年3月17日(日) 阿南市文化会館 夢ホール

年月日	部門	主催団体名	催しの名称	会場
4月7日(日)	吟詠	県吟詠連盟	県連第44回徳島県吟士権者決定大会	あわぎんホール大会議室
4月14日(日)	全体	邦楽協会	総会	グランドパレス徳島
4月14日(日)	吟詠	県詩吟剣詩舞道連盟	県道連平成25年度徳島県吟詠コンクール大会	石井町中央公民館
4月13日.14日(日)	三曲	琴古流尺八美風会徳島支部	野外活動	吉野川市美郷
4月29日(月)	三曲	徳島県尺八協会	第9回徳島県尺八協会演奏会	
5月18日(土)	吟詠	県吟詠連盟	県連第28回高年吟士権大会	あわぎんホール大会議室
5月26日(日)	吟詠	県吟剣詩舞道総連盟	財団全国剣詩舞コンクール徳島県大会	石井町中央公民館
6月2日(日)	謡曲	喜多流喜陽会	春季謡曲・仕舞・舞囃子会	ヨンデンプラザホール
6月2日(日)	三曲	美乃里会	美乃里会演奏会	ふれあい健康館
6月2日(日)	三曲	竹保流尺八徳島県支部	全国献奏大会	京都明暗寺
6月2日(日)	吟詠	県吟剣詩舞道総連盟	財団全国吟詠コンクール徳島県大会	あわぎんホール四階
6月16日(日)	民謡	阿波ぞめき 渦の会	第13回ぞめき民謡フェスティバル	文化の森イベントホール
6月16日(日)	吟詠	日本クラウン吟友会四国地区	第43回クラウン吟詠コンクール四国地区大会	石井町中央公民館
6月30日(日)	吟詠	日本吟詠総連盟四国地区	日総連全国吟詠コンクール四国地区大会	石井町中央公民館
6月30日(日)	吟詠	県吟詠連盟	県連四国・愛連出場者決定吟詠大会	あわぎんホール大会議室
7月7日(日)	三曲	琴古流尺八美風会徳島支部	支部研究会	昭和町あたけ
7月7日(日)	吟詠	県吟剣詩舞道総連盟	財団全国吟詠コンクール四国地区大会	石井町中央公民館
7月28日(日)	三曲	三曲協会	三曲ゆかた会	ヨンデンプラザ
8月	謡曲	嘉風会	嘉風会ゆかた会	八万コミュニティセンター
8月18日(日)	三曲	琴古流尺八美風会徳島支部	支部本曲講習会	八万コミュニティセンター
8月25日(日)	三曲	琴古流尺八美風会徳島支部	四国ブロック夏季錬成	第6番札所安楽寺
8月25日(日)	吟詠	日本吟詠総連盟四国地区	日総連四国地区吟詠剣舞支部大会	石井町中央公民館
9月1日(日)	吟詠	日本コロムビア吟音会徳島地区	日本コロムビア吟詠コンクール徳島県大会	石井町中央公民館
9月	長唄	春松会	ゆかた会	
10月2日(水)	三曲	竹保流尺八徳島県支部	全国献奏大会	京都明暗寺
10月6日(日)	吟詠	県詩吟剣詩舞道連盟	県道連秋季大会	石井町中央公民館
10月13日(日)	全部門	徳島県邦楽協会	邦楽大会	あわぎんホール
10月20日(日)		菰崎市	第28回国文祭やまなし2013邦楽の祭典	菰崎文化ホール
10月27日(日)	三曲	竹保流尺八徳島県支部	第30会記念定期演奏会	
11月3日(月)	吟詠	県吟詠連盟	県連秋季吟剣詩舞大会	あわぎんホール大会議室
11月5日(火)	長唄	徳島佐苗会	第16回青の会徳島佐苗会演奏会	
11月10日(日)	謡曲	喜多流喜陽会	春季謡曲・仕舞・舞囃子会	ヨンデンプラザホール
11月24日(日)	長唄	稀聲会	稀聲会演奏会	大塚ヴェガホール
12月	謡曲	嘉風会	嘉風会発表会	
1月13日(月)	三曲	三曲協会	三曲定期演奏会	あわぎんホール
1月19日(日)	三曲	琴古流尺八美風会徳島支部	美風会徳島支部演奏会	羽ノ浦コスモホール
2月	長唄	春松会	新年会	
2月2日(日)	三曲	琴古流尺八美風会徳島支部	吹き初め会	昭和町あたけ
3月2日(日)	全部門	徳島市文化協会	徳島市芸能祭	徳島市文化センター

会報「みやび」再刊にあたって

徳島県邦楽協会 会長

浅香寿穂

昭和42(1967)年、徳島県民文化祭の前身である徳島県芸術祭が開催されるに及んで、県邦楽界でもこれを大いに歓迎し、従来、個々に活躍されていた邦楽各分野の団体が大同団結し、同年12月17日に徳島県邦楽協会が結成されました。偕楽園に四十三会派五十八人の代表が集まったと記録されています。「翌年の第一回邦楽大会は二日間にわたり実に四百二十四人が出演して門出を飾った」とあります。昭和47年度県芸術祭開幕式典の記念公演を本協会が受け持ったことで、代表百十人による絢爛たる舞台は、芸どころとくしまの面目躍如たるものがあつたと記されています。こうした記録は、邦楽協会が結成六周年に当たり、それを機に創刊された会報「みやび」(昭和49年3月31日発刊)に掲載されています。この「みやび」は初代会長の春名完二先生が保管されておられるのを拝借したものです。会報は次の年に第2号が発刊されています。編集後記に「機を見て随時発刊していくつもり」とありますが、その後発刊された形跡はありません。事務局は当時の徳島県教育委員会文化課(昭和48年度までは社会教育課)内とありますから、文化課が県芸術祭執行

委員会の事務局も担当し多忙になったこともあつたかと思われまます。

私が文化課に勤務するようになりしたのは昭和56年ですが、その時には邦楽協会の用務はありませんでした。ただ、文化振興班の主事が邦楽協会の常任理事になっていましたので、総会には参加しておりました。春名会長から長唄を教わるようになり、私はそのまま常任理事、佐篠会長で副会長、そして行き掛かりで会長となった次第です。行政事務の経験から会則に定められている会報の発刊が気になり、再刊を提起しました。会報再刊が会員相互の理解と連帯をさらに深め、本協会の活動が広く周知されることを願っております。

ロゴ(マーク)

平成21年、徳島県邦楽協会の団結のシンボルとして、特に県外での演奏活動(国文祭等)に際して、協会代表の認識と誇りを持ってもらうよう創られました。

題字

書家 後藤泰秀(鹿三)氏(宝生流謡曲家)によるもので、昭和49年創刊号から使用されています